

比企起業大学・比企起業大学大学院 総長 関根雅泰さん
「地方での起業と子育て～新たなチャレンジの物語～」

●自己紹介

埼玉県鴻巣市生まれの51歳。ときがわ町に移住して、15年が経ちます。子どもが、長女(20歳)、次女(17歳)、長男(14歳)、次男(8歳)の4人いるのですが、長女が自立し家を出たので、今は愛する奥さんと子ども3人、3羽の兎、1羽の文鳥と暮らしています。

熊谷の高校を卒業後、アメリカへ留学しました。留学を終え、帰国した後は、学習教材の訪問販売業に就職。ただ、訪問販売の営業は本当に大変で……。そんな時、転職雑誌を眺めていたら「企業研修の会社」の求人に見まりました。1社目の会社は、小中学生向けの教材だったのですが、今度は「企業研修」という形で大人への学びをサポートするのもおもしろそうだなと思い、転職を決意します。約100人の応募があったそうなのですが、2名の採用枠に入ることができました。

●起業のきっかけは？

2003年には、最初の子供が生まれました。その頃、川越に居住していましたが、勤務地は渋谷。通勤時間は片道1時間半もかかり、かなり大変な日々でした。帰宅も子どもが寝静まった後。土日しかゆっくりと家族と過ごす時間はありませんでした。

会社では、リーダーとして仲間と意欲的に仕事に取り組んでいました。そんな折、父がステージ4の肺がんになり、余命半年と宣告されます。宣告後は、18:30には退社をし、父の元へ通っていました。医師の宣告通り、父は半年後に他界。そしたら、急に力が抜けるような感覚に襲われたんです。下痢が続くなどの体調不良も続いてしまい……。でも、後輩には「やる気のない姿」を見せたくない。苦しい時期でした。

父親の死は、私にとって大きな転機となりました。加えて、奥さんは、2人目を妊娠。自身の体調不良。人生、家族、仕事……。様々な出来事と想いの中、会社を退職する決意をし、「起業」という選択をします。

起業当初は、家族もいたのとにかく稼がなければいけないと必死でした。いろいろなことをしてみました。ある時、周囲の人からこう言われたんです。

「やっぱり関根さんの強みは企業研修じゃない？」

ハッとしました。そして、家族のためにも、自分のためにも「企業研修」という分野でやっていると覚悟を決めました。その後、出版企画コンテストに通って『教え上手になる』という本を出版します。その辺から徐々に売上も軌道に乗ってきました。

●起業して子どもとの接し方は変わりましたか？

起業してからは家で仕事をするようになったので、子どもとの接点が増えました。サラリーマン時代は、通勤に時間を割かれ、平日はほとんど子どもとの時間がなかったので……。保育園の送迎もするようになりましたね。送迎に関しては、妻から「本当に助かった」と言ってもらえました。

●個人事業主として、子育てと仕事の両立が大変だなと感じる時って？

自宅で仕事をするようになってから、「子どもと同じ空間での仕事」の大変さに気付かされました。集中して仕事をしたいのに、なかなかそれが難しい。子どもの昼寝の時間は、仕事ができる

貴重な時間でした。奥さんも気を遣って、子どもを外に連れ出してくれていたのですが、それも毎日続くとしんどいですよね。

あと、保育園のお迎えに行っても、子どもがなかなか帰りたがらない時ってあるじゃないですか。ついイライラしちゃうんですね。かわいい子どもたちには、いろいろ悩まされております(笑)。最近、末っ子が通う習い事の送迎を、奥さんと分担して行っています。

●夏休みは、子どもとどう過ごしましたか？

ときがわ町のきのむらキャンプ場へ、次男&奥さんと行きました。子どもたちも大きくなってきたので、こういう一緒に遊べる時間も大切にしたいと感じています。

●比企起業大学には、子育て世代も多くいらっしゃいますか？

はい、小さなお子さんを持つパパママさんもいらっしゃいます。比企起業大学は、全てオンラインの講座なので、ご自宅にいながら受講することが可能です。zoomにお子さんが参入してきても大丈夫。親が学んでいるということを、子どもが知るいい機会にもなると思います。

●起業して約20年。何か悩み、大変なこと、苦労していることってありますか？

仕事に関しては、悩みというより「考える」ということの方が多いですね。顧客づくりについては、常に考えています。また、経営は独りではできないので、様々な仕事でお世話になる事業パートナーの方々にお支払いできるよう、売上確保について常に考えています。

子育てに関しては、親として「こうして欲しいな」という子どもに対しての願望ってあると思うのですが、子どもってそうならないじゃないですか(笑)。彼らは、彼らの考えがある訳で。でも、親だからつつい考えちゃう。歯痒さを感じることはありますね。4人の子ども達も、やりたいことや考え方は皆それぞれ。話を聞きつつ、できるだけサポートしたいと思っています。

●関根さんって相談する人っているんですか？

基本的に「自分に相談」します。マインドマップを書いたり、自宅裏の山を歩いたりしながら考えていますね。あとは、ビジネス界で尊敬している先輩を思い浮かべて、「あの人だったらどう考える？ どう行動する？」と置き換えて考察することもあります。

●今後の展望、やりたいことはありますか？

「ときがわ町を、学ぶ大人が集う場にしたい」

比企起業大学を中心に、ときがわ町を学び合う大人たちの結集の場にしていきたいです。起業家は常に学び続けていないといけません。1人で学ぶことも必要ですが、複数の視点が交わる場で学ぶことで、アイデアが豊かに交じり合い、新たな発見も生まれます。

また、私が事業で行っている「企業研修」をときがわ町に呼びたいと活動も始めています。学び合う大人が集う拠点「ときがわ町」。自身も学び続けながら、その構想に向けて行動中です！